

# 2019年度 リーダー塾 募集

## 新たに、「ベーシックコース」が開講!!

課題解決に向けて自ら行動し成果を生み出す、製造請負現場のリーダーを育成する

### ～ 知るから出来るへ ～

- ◆ 生産活動を行う上では、QDCSM（品質・生産・コスト・安全・モラル）の維持、向上を常に求められます。顧客からの安心と信頼は、製造請負を担うリーダーの力量（現場力）にかかっています。

#### <こんな悩みを持っていませんか？>

- ◆ 強いリーダーを育成し、強い現場をつくりたい。
- ◆ 発注者と対等に議論できるリーダーがほしい。  
製造現場の基礎知識、ノウハウを高めたい。  
問題を的確に捉え、自ら課題解決していくスキルを身につけたい。
- ◆ リーダーの役割、責任を自覚し、更なるリーダーシップを発揮したい。

そのためには「知識⇒行動⇒成果」への実践ステップを身につける必要があります。

リーダー塾では、リーダーに必要な「知識・スキル・マインド」を全6回で総合的に鍛えます！



昨年度の研修風景

2018年度開講

#### ◆ リーダー塾（アドバンスコース）

<対象> 製造請負現場のリーダーとして、  
一定の経験がある中堅リーダー

本年度新設

#### ◆ ベーシックコース

<対象> 製造請負現場の初期リーダー、  
次世代のリーダー候補、派遣現場のリーダー

#### <期待される受講効果>

- ◆ 現場リーダーとして必要な「製造現場の基礎知識」を習得できる。<知識>
- ◆ 自らの現場での行動計画を作成・実践し、評価を受ける。他の受講者の経験も共有できる。<行動>
- ◆ 正しいアプローチを身につけ、スキルと自信を会得、自社内での業務改善へ展開できる。<成果>

アドバンスコースでは

- ◆ QC 7つ道具等を活用して現状を分析し、問題の要因を特定し、具体的な改善方策を提案、実施することができる。

ベーシックコースでは

- ◆ 現状を分析するために、QC 7つ道具等を使いこなせるようになり、問題状況に応じて、改善方策を検討することができる。

## <開催スケジュール>

### ◆ 2019年度 リーダー塾 (アドバンスコース)

- [第1回] 9月 6日(金) 13:00~17:30  
[第2回] 9月 7日(土) 9:30~16:30  
[第3回] 10月 18日(金) 13:00~17:30  
[第4回] 10月 19日(土) 9:30~16:30  
＜行動計画実施期間＞  
[第5回] 1月 31日(金) 13:00~17:30  
[第6回] 2月 1日(土) 9:30~16:30

### ◆ 新設！ベーシックコース

- [第1回] 10月 4日(金) 13:00~17:30  
[第2回] 10月 5日(土) 9:30~16:30  
[第3回] 11月 8日(金) 13:00~17:30  
[第4回] 11月 9日(土) 9:30~16:30  
＜行動計画実施期間＞  
[第5回] 2月 7日(金) 13:00~17:30  
[第6回] 2月 8日(土) 9:30~16:30

<塾長> 豊富な事例を経験した講師の優れた講義や指導を受けることができます

コンペティンシーリサーチ&プロデュース オフィスN 代表 中山 輝文 氏

ソニーセミコンダクタ株式会社で半導体製造部長、請負オペレーション推進室長等を歴任し、請負戦略・企画、請負コンプライアンスに関する全社の統括責任者として従事。現在、主に製造系人材ビジネスサービスへのコンサルタントとして活躍中。



中山メソッドを伝授します

## <カリキュラム>

### 講義と演習・事例を取り入れた実践的プログラム

演習・事例検討を豊富に取り入れることで、即、業務に役立てていただける実践的スキルが習得できます。(詳細は3ページ参照)



講義



個人  
ワーク



グループ  
ワーク



実践演習

### <第1期リーダー塾受講生の声> (詳細は5ページ参照)



第1期生集合写真

- ★ 発注者側からの要求に対して、今までは「はい」としか言えなかったが、リーダー塾で得た手法を用いて資料を作成し、発注者に対して意見を言えるようになりました。
- ★ できないことをできないままにせず、原因追及をスタッフとともに、怒るではなく叱る、聞くではなく聴く姿勢で行ったところ、雰囲気ガラリとよくなりました。
- ★ 自信をもって、積極的に行動が出来るようになりました。
- ★ 製造業に必要な管理手法やツールを習得できたので、管理図等を用いて品質管理業務を遂行しています。

### <受講生の上長からのコメント>

- ★ 受講生に「リーダーとして身につけるべき知識、ノウハウの修得」「今後、スタッフを育成していくためのトレーナーとしてのノウハウの修得」の2点の修得をお願いしたが、当初の目的を十分に達せられたと感じています。
- ★ 明らかに変化が見られたのは、積極性です。受講前は受け身でしたが、受講後は攻めの姿勢に転ずることができつつあると感じています。

## <カリキュラム>

※ 第1回～第4回(午前)、及び第5回は、アドバンスコース、ベーシックコース共通カリキュラム(事例検討は異なります)

### 第1回 ◆ 開塾/オリエンテーション ◆ リーダーの役割と求められる行動

- ① リーダーとしての心構え/役割
- ② 人材育成について考えてみる

### 第2回、第3回、第4回(午前) ◆ 生産管理・品質管理 (詳細は6,7ページ参照)

- ① 生産管理・品質管理等について基本を体系的に整理し、習得する
- ② リーダーとして、製造現場で生産管理・品質管理を進める際に、押さえておくべきポイントを学ぶ
- ③ How To「どのように考えるべきか? どうしたらいいか?」事例をもとに解決するヒントを会得する

### ★アドバンスコース

#### 第4回(午後) ◆ 行動計画づくり

第5回の講座日までの2か月間に、受講者が自らの現場を改善するために取り組む課題を設定し、PDCA手法によって、課題解決のための具体的アプローチを記載した行動計画を作成する

### ★ベーシックコース

#### 第4回(午後) ◆ 行動計画づくり

第5回の講座日までの2か月間に、受講者が自らの現場を改善するため取り組む課題を設定し、3M(ムリ・ムラ・ムダ)や5Sを取り入れた行動計画を作成する

<第5回目までの約2か月間>作成した個人行動計画を現場で実践!

実践を踏まえて、行動計画の見直し⇒再トライアル

※行動計画を実践するうえでの質問は、中山塾長がメールにてフォロー、個別に相談に応じます。

### 第5回 ◆ 行動計画の成果発表

- ① 各自が行動計画の実践結果を評価し、見えてきた課題を抽出して、プレゼン。課題解決へのアプローチ方法を討議
  - ② 解決方法・活用ツールの具体例を共有
- ※ 他社、異業種の事例を学び、自身の行動のヒントを得る

### ★アドバンスコース

#### 第6回 ◆ 「解決方法・活用ツール」を使ってみる (グループ討議)

- ① グループ単位でテキストのケーススタディに対し、「解決方法・活用ツール」を使用して要因を洗い出した後に真因を特定し、問題解決のための具体的な改善方策を提案する

### ★ベーシックコース

#### 第6回 ◆ QC7つ道具等を使ってみる (グループ討議)

- ① グループ単位でテキストのケーススタディに対し、QC7つ道具等を使って多角的に品質を確認し、データに基づいて解決すべき課題を明確にし、改善方策を検討する

- ② グループ討議の発表、討議
  - ③ 塾長による評価、指導
  - ④ 振り返り
- ・受講により何が変わったか、before・afterの確認 ・強いリーダー/強い現場づくりに向けての「自身の行動宣言」の発表
- ⑤ 塾長より、全6回の振り返り
- ◆ 修了式/修了証書授与

◆ 講座終了後、受講者各自が作成した「自身の行動宣言」に塾長からのコメントを入れて会社にフィードバック。

◆ 全日程の受講者には、受講最終日の修了式にて、修了証書を授与いたします。

### <情報交換・懇親会>

第1回の講義終了後、塾長を囲んで情報交換・懇親会を開催いたします。塾長および受講生同士の交流を深める良い機会となりますので、是非ご参加ください(懇親会参加費は受講料に含まれません)。

## 各コース定員 15 名 [少人数制]

◇定員に達しましたら、申込受付を締め切りとさせていただきますので、お早めにお申し込みください。

※受講生のリーダー経験年数などにより、受講コースの変更をお願いする可能性があります。また、参加者が少人数の場合等、中止させていただく場合がございますので、予めご了承ください。

## 受講料 [テキスト・資料代含む/税別]

技能協 正会員・物流会員	100,000 円
技能協 連絡会員	150,000 円
一般の方	200,000 円

◇1 社 2 名以上お申込みの場合、2 名目より 10,000 円の割引をいたします。

◇全日程を同一の方がご出席ください。

◇10 月開講ベーシックコースにつきましては、消費税増税後の開講となりますので、消費税 10%とさせていただきます。

## テキスト

◇研修を効果的に実施するため、事前学習をお願いいたします。受講証と一緒にテキストを送付しますので、事前にテキストに目を通したうえで受講当日はご持参ください。

## お申込み

◇「リーダー塾 受講申込書」をご記入のうえ、FAX もしくは e-mail にてお送りください。

締切日：アドバンスコース=8 月 23 日（金）

ベーシックコース=9 月 20 日（金）

## 受講料のお支払い方法

◇お申込みご担当者様宛に、請求書を郵送いたします。

◇受講料は研修開催日 14 営業日前までに、請求書に記載の銀行口座へお振込ください。

お振込手数料は貴社にてご負担ください。

## 受講のキャンセル

◇申込後の受講取消しは、申込締切日までのご連絡で、送金手数料および事前配布済みテキスト代金 3,500 円（税別）を控除して口座振り込みにて返金いたします。

◇申込締切日以降の受講取消しは、キャンセル規定によるキャンセル料が発生いたします。

## キャンセル規定（1 名当たり）

受講取消し(キャンセル)を行った日	キャンセル料金
申込締切日まで	なし
申込締切日の翌日～ 開催日の前々日	受講料の 50%
開催日の前日～	受講料の 100%

## 会場案内

ハロー貸会議室 新橋

(港区新橋 2-16-1 ニュー新橋ビル 8 階 802)



JR 山手線新橋駅 烏森口(カラスモリグチ)徒歩 1 分、

東京メトロ銀座線 新橋駅 8 番出口徒歩 1 分

※都合により、会場が当初のご案内から変更になる場合がございます。

## 注意事項

◇録音・録画・撮影等をご遠慮ください。

◇昼食の用意はございませんので、各自でおとりください。

◇お荷物、貴重品の管理は、各自でお願いいたします。

◇会場までの交通費および受講の際の宿泊費は、各自でご負担ください。

◇行動計画作成等の作業でパソコンをご使用いただきますので、就業先もしくはご自宅で、パソコンを使用可能な方のご参加をお願いいたします。

## <リーダー塾に関するお問合せ先>

一般社団法人日本生産技能労務協会  
事務局 研修事業グループ

〒105-0004 東京都港区新橋 4-5-1  
アーバン新橋ビル 9 階

TEL : 03-6435-7537(直通)

FAX : 03-6435-7538

e-mail : kensyu@js-gino.org

※ 第1期リーダー塾受講生の声

形態	生産品目	リーダー歴	受講後4ヶ月経過した時点の「リーダー塾」への感想	仕事の進め方、考え方、周りの方への接し方の変化	現在の状況、学んだことが活かされているか
請負	自動車部品	1年	課題に取り組み、発表し、良い所も悪い所も含めご指導いただきました。自分の欠点・弱い部分を知ることが出来ました。	信頼の置ける管理者へと成長するためにも、「自分に無いものを培うより、自分に有るいいものを伸ばす」という中山先生の言葉を思い出し、心掛けています。	「考え方」で大きく活かしています。「PDCAの【P】のためのP」をリーダー塾で経験したあの達成感を、 <u>今後も忘れる事なく実践して行きたい。</u>
請負・派遣	包装材料	3年	同業他社の方々との意見交換等で悩みを共有したことによりモチベーションがあがり、自発的に行動できるようになりました。	発注者側からの要求に対して、今までは「はい」としか言えなかったが、 <u>リーダー塾で得た手法を用いて資料を作成し、発注者に対して意見を言えるようになりました。</u>	改善活動、人材育成の際に学んだ手法をマニュアル化させ、日々の業務に臨んでおります。
請負	食品	4年	<u>具体的な資料を使用した講義のため、とても分かりやすかったです。</u>	人材育成に対する考え方、進め方が、受講する前と後では大きく変わりました。	まだ一部しか活かせていません。これから活かせるようにしたいと思います。
請負	食品	5年	塾という形で学べたのは新鮮でした。期間にして4か月でしたが、 <u>現場での実践も盛り込まれて、自分自身にプラスになりました。</u>	自分の考え方や周囲への接し方を変えるのは困難だと思っていたが、「 <u>リーダーとして</u> 」という部分で、少し成長できた気がします。	考え方や見方は変わったと思うし、 <u>参考</u> にしている資料ややり方もあります。
請負	液晶基板	15年	実体験に基づいた研修で、 <u>請負会社の管理に必要なリーダーシップ、コミュニケーション、キャリアアップ、アウトプットなどを学びました。</u>	スキルのある人に仕事を任せられるようになりました。自分自身、さらに上のマネジメントにチャレンジしたいと思います。	<u>製造業に必要な管理手法やツールを習得できたので、管理図等を用いて品質管理業務を遂行しています。</u>
派遣	化粧品	0年	難しい内容もあり、すぐには理解できないこともありましたが、使えることを活かしていこうと思いました。	<u>リーダーとしての立ち振る舞いをしよう</u> と意識して仕事に取り組んでいます。	少しずつだが活かせてきているので、さらに活かせるように努力していきます。
派遣	産業用機械	半年	いろいろな知識を学び、徐々に身に付き実践できるようになり、受講してよかったと感じています。	<u>自信をもって、積極的に行動が出来る</u> ようになりました。	人材育成については、まだまだ満足のものが出ていませんが、学んだことを振り返り、行動しています。
派遣	食品	1年	基礎の知らない私にとっては、大変ためになりました。	<u>できないことをできないままにせず、原因追及をスタッフとともに</u> 行い、怒るではなく叱る、聞くではなく聴く姿勢で行ったところ、 <u>雰囲気ガラリとよくなりました。</u>	これから現場管理者になる人にとっては、内容を理解し実践するには時間がかかと思うが、少しずつ読み解けば自分の力になると実感しています。
派遣	自動車部品	1年	基礎的なことからスタートし応用編に進むので、リーダー歴が浅くても置いていかれることなく学ぶことが出来ました。	知識があるかないとでは効率が全然違うので、仕事の進め方・考え方を学ぶことはとても大切だと思いました。	<u>知識の引き出しは確実に増えました。</u> 今は、リーダー塾で使用したテキストと資料を手元に置き、現場で活用しています。
派遣	化粧品	3年	現場では、 <u>基礎教育がない状態で業務を行っているケースが多いため、製造業の基礎知識を学ぶことができて有意義だった。</u>	責任範疇説明などの知識を得たことで顧客との会話がスムーズになり、部下への教育内容も具体的なものとなった。	知識はついたが使うシーンがなく、アウトプットできていないことが多いです。
派遣	産業用機械	10年	同世代、同業種の方々と意見交換でき、自分に自信が付き、研修終了後には達成感を感じた。	派遣先のミーティングで、 <u>品質・安全・人材育成などに関してアドバイス</u> ができるようになりました。	常に発想とコンピテンシーを意識し、スタッフの人材育成と作業環境の向上を派遣先社員と連携しています。

<使用テキスト> 当協会執筆・監修「わかる！身につく！製造現場の基礎知識 50」を使用

生産管理・品質管理を学ぶ上でのポイントが体系的に整理された1冊です。

本書籍は、PHP 研究所にて、「通信教育」のテキストとして使用され、本書籍をテキストとして使用した通信教育は、数ある PHP 研究所の通信教育の中で、ベスト 30 にランクインしています。

第 2 回 ◆生産管理		
No.	カリキュラム	「製造現場の基礎知識 50」ポイント
1	生産方式の分類と特徴	生産方式の分類 (受注、見込み、多品種少量、少品種多量、セル生産・)
2	生産管理とは	生産管理の目的：QDC、顧客満足 生産活動の流れ：計画-投入-加工-出荷-管理 4MとPSME ボトルネック設備
3	生産計画とは	生産計画の3段階（基準生産計画、週/日、購買計画）
4	生産能力の計算と工程設計	設備の生産能力＝設備負荷率 作業員の生産能力＝必要人員数 (人作業負荷率)
5	日程計画を立てる	生産負荷/基準日程/リードタイム/同期化
6	作業標準書をつくる	作業標準書：メソッド/作成の注意点/標準書の作成 標準書事例とワンポイントレッスン
7	作業の能率を確認	生産能力、生産性（原材料生産性/設備生産性/労働生産性）、作業能率、稼働率、操業度、良品率
8	標準時間を設定する	標準時間＝標準作業時間
9	資材管理の考え方	主資材（直材）副資材（間材）
10	入庫・出庫の管理	入庫、出庫、在庫管理
11	在庫とは	材料在庫、仕掛品在庫、製品在庫
12	倉庫管理と棚卸し	先入れ先出し 棚卸し
13	納期管理とは	差立板＝生産管理版 ガントチャート 製造三角図＝生産予実績管理表
14	納期遅れへの対策	納期とデッドライン
15	設備管理の考え方	7大ロス ①故障ロス②段取り替え・調整ロス③消耗品ロス・刃具ロス④立上げロス⑤チョコ停・空転ロス⑥速度低下ロス⑦不具合・手直しロス

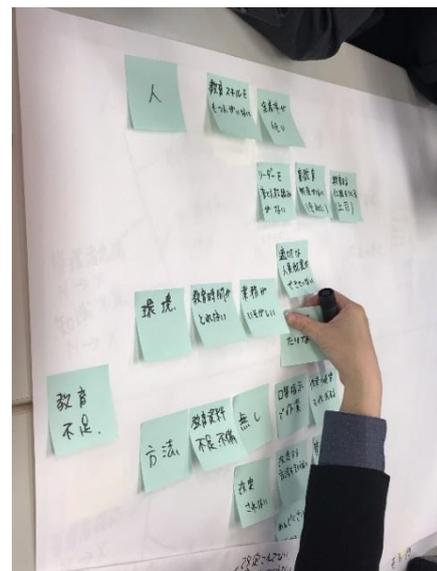
16	故障の分類	故障モード：劣化故障/突発故障/間欠故障 期間分類：初期故障/偶発故障/摩耗故障
17	設備保全の方法	5つの保全パターン 事後保全/予防保全/生産保全/TPM/予知保全
18	設備の稼働率	設備稼働率、故障率
19	5S活動の徹底	5S「整理・整頓・清掃・清潔・躰」
20	視覚的に管理する	視覚的に管理＝目で見える管理/見える化する
21	TPM活動に取り組む	TPMの7つのステップ
22	多能工化を推進する	多能工/多台持ち＝マルチスキル
23	IE手法による改善	IE分析 4M（人・設備・材料・方法）と現場7大基本（品質・価格・量・納期・生産性・安全性・意欲・環境性）の観点での分析
24	安全衛生管理の大切さ	5Sは基本 作業標準書を守る ハインリッヒの法則
25	さまざまな安全対策	OSHMS（労働安全衛生マネジメントシステム） 方針/防止措置/計画 PDCA リスクアセスメント→①低減リスク/②管理リスク KYT/ヒヤリハット



研修のテキスト

第3回、第4回（午前） ◆品質管理		
No.	カリキュラム	「製造現場の基礎知識 50」ポイント
26	品質管理の重要性	品質管理/品質保証とは？ ①よいものをつくる②悪いものをださない③発生したら誠意をもって対応する→そのために品質活動、モノづくり活動がある
27	品質管理(QC)とは	品質の均一化を図る＝顧客満足度 企業活動として求められる「品質管理システム」 「適正価格」でつくる
28	品質管理のPDCA	PDCAとは？ PDCA サイクルとは？
29	バラツキ・不具合をなくす	ムリムダムラ＝3ムの法則 ツールボックスミーティングと話し合いのコツ ①～⑤ 「応急対策」と「恒久対策」「再発防止」と未然防止
30	品質管理の進め方	経営理念→中期計画→品質方針/計画(事業計画)
31	QC 工程図の作り方	QC 工程図 (工程条件表)
32	QC 7つ道具① QC 7つ道具とは/チェックシート	7つ道具の用途は「数値分析」 チェックシートの意味と活用方法を理解すること
33	QC 7つ道具② パレート図/特性要因図/ヒストグラム	パレート図/特性要因図/ヒストグラムの意味と活用方法を理解すること
34	QC 7つ道具③ 層別/散布図/管理図	層別/散布図/管理図の意味と活用方法を理解すること
35	新 QC 7つ道具の活用	用途は「言語データ」の分析 新7つ道具の意味と活用方法を理解すること
36	問題解決のステップ	問題とは何か？を知る！ 問題解決のステップ①～⑥を理解する
37	QC を進めるストーリー	問題解決のステップに合わせて QC7 つ道具を活用することを理解、会得する
38	対策の着眼点	ブレインストーミングの四原則 改善の着想と原則
39	QC サークルの活動について	QC と TQC QC サークル活動の進め方の肝を知る！
40	数値データと言語データ	数値データと言語データの使い方を知る！

41	統計的手法の活用	範囲 (R) と平均値 (X) とは？ 標準偏差 (σシグマ) とは？ その意味を理解する
42	正規分布	正規分布とは？ その意味を理解する
43	サンプリングと誤差	工程能力指数 (Cpk) とは？ その意味を理解する
44	検査の目的と方法	検査をする意味を知る！ 検査方法、サンプリング方法、判定基準など...
45	自工程の品質を保証する	製造を担う上での、製造現場での品質管理のあり方を知る！
46	不具合が発生したときの解決手法	今まで学習した品質管理、QC 手法をもって解決することを学ぶ
47	品質不具合の経験を生かすために	なぜなぜ分析を活用するための肝を学ぶ！ 【テキスト外】ヒューマンエラーファクターを学ぶ！
48	品質クレームの対応	請負であるならばエンドユーザーからのクレームは適用外。 顧客への是正対応をしっかりとやることが重要
49	ISO9000 シリーズ	品質の ISO とは何か？をよく理解すること。 顧客の「品質マネージメントシステム」を熟知することが重要
50	ISO14000 シリーズ	環境の ISO とは何か？をよく理解すること。 顧客の「環境マネージメントシステム」を熟知することが重要



研修でのグループ討議の様子  
(原因分析の検討風景)

## リーダー塾 受講申込書

お申込日	年      月      日				
会社名	<input type="checkbox"/> 正会員 <input type="checkbox"/> 物流会員 <input type="checkbox"/> 連絡会員 <input type="checkbox"/> 一般				
申し込み ご担当者様	氏名				
	所属 部署		役職		
ご連絡先	電話				
	メールアドレス (必須)				
[送付先] 請求書、 受講証およ びテキストの 発送先	住所	〒			
	電話				
	受取 ご担当者様	<input type="checkbox"/> 上記申し込み ご担当者様と同じ	上記記載の申し込みご担当者様と異なる場合はご記入ください		
参加者	1	受講希望コース (いずれかのコースにチェックを入れてください)	<input type="checkbox"/> 9月開講アドバンスコース	<input type="checkbox"/> 10月開講ベーシックコース	
		ふりがな 氏名		リーダー歴	年 <small>(未経験の場合は「0」を記入)</small>
		担当して いる形態	請負 ・ 派遣	担当している 主な生産品目	例:半導体
	2	受講希望コース (いずれかのコースにチェックを入れてください)	<input type="checkbox"/> 9月開講アドバンスコース	<input type="checkbox"/> 10月開講ベーシックコース	
		ふりがな 氏名		リーダー歴	年 <small>(未経験の場合は「0」を記入)</small>
		担当して いる形態	請負 ・ 派遣	担当している 主な生産品目	例:半導体